12月号

こびとのおうちえん Letter

平成30(2018)年12月3日発行　第96号

あらたが、いつのまにか、ひかるみたいになっている。ハダシ、半ズボン、サンダル…。ひかるが好きなのもあるやろうけど、なんかいいなあと思う。山を何回も歩くうちにももこも多少くつに土が入ろうが平気になってきた。りょうすけもえいしんも朝、たんけん　昼からさんぽとよく動いてる。心がそうしたいと動いている。ひかるは、ほぼ山たんけんの日々。私にはできないからどんどん冒険心をくすぐる方へつれ出していってもらおう。最近は、みんなでもたくさん山を歩いてる。各々の成長を感じる。さむくなるけど、たくましくいこう！

11月はこんなことしました

- 室積でイワシとり
- 船岩寺に歩いていく
- イモほり
- 琴石山に登る
- ひみつきち作り
- しいの実を炒って食べる
- 穴ほり
- きょうりゅうごっこ
- 干しイモ作り
- 山たんけん
- 赤子山へ登る
- うどん作り
- ゆずもぎ
- やきみかん
- けいドロ

etc…

12月のお母さんグループ

20日(木) 13:00〜15:00
大野地区老人作業所

内容：「聴く」ことをやってみましょう。

※参加したい方は、事前にご連絡下さい。
当日でもOKです！

おしらせ

冬休みは、H30.12/28(金)〜H31.1/6(日)です。

12月のスタッフプラン

13日(木) 弥山にのぼろう！
おべんとうの準備をお願いします。
詳細は、メールでおしらせしてある通りです。

・ポンポラ飯をたいてみよう

＊おたんじょうび おめでとう!!＊

16日　たにむらひさとくん
（5さい）

＿＿＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

よしみさんのコーナー

「日日是好日」（にちにちこれこうじつ）

「晴れの日も雨の日も、すべていい日」　心に響いた。

ヘルニアで入院、手術と思いもよらないことが起きて、動きも制限される中で、少しずつおうちえんスタッフとして、てらこやのキッチンスタッフとして日々を過ごしている今に。

樹木希林さんが9月におなくなりになった。訃報を聞いて、3年前縁あって一緒に食事をする機会をいただき、楽しい時間を過ごしたことを思い出した。その希林さんの遺作となったのが、「日日是好日」という映画だ。

言葉の意味と、どんなお話なのかをしらべてみたら、お茶（茶道）のお話だということだったので、是非見てみたい！と思った。だけど、山口県の公開は、まだ先でわからなかった。先日、電車に長時間乗ることがあったので、何か本をと、この機会に原作本を買って読んでみた。

内容は、作者がお茶を通して体験したことを、季節を繰り返し歳を重ねて感じたことを綴っているものなんだけど、私も10歳から結婚する27歳までの17年間習っていたので、書いてあることはとても心地よく染み込んできた。作法は難しいけれど、動きには無駄がなく美しい。今ここに心を向けて目の前のことと向き合うと、不思議と心が解放される、まるで瞑想と似ている。週に1回のお稽古は、よほどのことがない限り休まず行っていたことを思い出した。始めた当初は子どもだったし、友達がいたのでただそれだけで楽しかった。大人になってからは、季節を少し先取りしたしつらえや道具で現実の世界の移り変わりにも敏感になった。今、季節の移ってゆく様を感じ美しいなあと思う私がいるのは、お茶が大きく影響しているのだと本を読んで改めて思った。

希林さんの遺した映画がきっかけで、お茶の事に触れられて忘れていた感情を蘇らせてもらった。前書きに「長い目で、今を生きろ」と書いてある。時間の流れの中で目を開き、自分の成長を折々に発見していく事を作者はお茶を通して伝えている。ちゃんと生きていたら無駄な事は何もないということなのかな。私もまだまだ小さな発見を重ねて自分を作っていきたいと思うこの頃です。本の宣伝みたいになってしまったけど、またお茶を習いたいなー。

岡部　吉美

ようこのちょこっとおうちえん日誌　〜日々のあれこれ〜

昨日、お母さんたちが室積でたくさんいわしをとったと聞いて、出かけることに！
着くと、おとといと違って、すごい高い波!! 大丈夫か！
浜には、たくさんの人。
私、車止める場所まちがえて、いわしあがってる場所まで遠かった！みんなごめん…。よく歩いた。
そして1回だけイワシがあがった!! それを夢中でとる。ほのこ　つむぎ　みと　てんこ　あらた　りょうすけらが活躍。平生から来た、と言うと、数人の人がバケツにわけてくれた。その後、浜を歩いてきれいなイワシをあつめて、イワシとりは終了。
のこりの時間は、浜であそぶ。ひかるは、砂に体全部うまっていた。
みんながおうちにもってかえれるほどはなかったので、おやつにすることに。
おひるごはんのあと、みと　てんこがすごい手ぎわよくイワシのあたまをとっておなかをあける。
もう、とっても大助かりだった。そして感心した。
あつあつの天プラはとってもおいしくて、おかわりも続出♡（11/9）

ももこ　ともや　ちさ　ろくだいで「おばあちゃんごっこ」をしている。車をつくってみんなでのっている。
ソースの容器を赤ちゃんにして抱っこしながら、
「この子は男の子ですよー」「この子は女の子ですよー」とお話している。（11/2）

放課後通りかかったてらこや宙(小5)と背くらべ。
大きくなってきた。体重は私より重くなったそう。
宙に「背ぬかしたら、肩車してね。」と言ったら、
「ええよ。」「今、できると思う。」って。
えっ！今!! 予想外の展開。数年前の宙は、さわるのもイヤがった。お年頃なんだねえと思っていた。なのに…。でも、うれしい！から、やってもらう。本当にできるのか?!と思ったら、ひょいと肩にのせて立ちあがった。キャーキャーが止まらない。重くないの?! 私は、どこを持ったらいいの?!と一瞬パニくる。そして、
あー、そうかあー肩車ってこんなかんじだったかー。
懐しい。子どもの頃ぶり。きっと父にしてもらったぶり。もう2度とこんな体験できると思ってなかった。
なんか吉田沙保里の気分でもあった。
庭を歩いて、ひょいとおろしてくれた。
そして、なんだかそんな今の宙と私の関係がうれしかった。それから、2歳のころの宙と、おうちえんがはじまったころのことを思い出していた。（11/21）

干しイモ作り。たき火はひさとが担当。
はりきってやってた。マッチも自分でつけた。
イモが煮えるとこまでやって下におりていった。おイモを切ったのは、ろくだい　ちさ　ももこ。ていねいにやってた。おイモやわらかいし、あついし、なのに、落ちついてやっていた。
並べるのも3人が。できるの楽しみね。（11/22）

ひかるが「山にのぼってあっちの海みる」と、M.Mで言う。あらた　つむぎ　こうた　えいしんが見まかれて行くことに。めざす海は伊保庄。昔は、ここの山を越えて伊保庄の海へ行っていたとここに住んでたおじいちゃんにきいたことある。でも今まで1度も行ったことない。山を通って進んでいき11:00前には、海と集落が見えてきたらしい。そしてドンピシャで、マテ貝ほりの浜のとこに出たって。途中、牧場とかもあってヤギや牛も見たそう。あつおさんにおむかえをたのんで海ですごす。海での出来事（魚もらった）の方がインパクト有り。帰ってきてもほぼ山の話はしなかった！けど、なかなかのすごい道だったみたい。つむぎ　えいしんは、ハダカになって海に入ったらしい。つむぎはじゃんじゃんとびこんでたそう。2人は200mくらい浜を走ったりもした。（11/30）

いちだい　かんせい　つばめが、あつおさんとハゼかけの「なる」をバラして下のたんぼに運ぶ。かんせいが、たんぼの横の穴をみて、「おんせんみたい」穴に入り、「みてみてあっつん、ちょうどいい。」それから3人は、おうち作りをはじめる。かんせいが、あつおさんに「これ、いらん？これいらん？」と自分が必要な竹や棒をはこんでいる。ワラもたくさんはこんで家のまわりを囲む。はっぱのペンキといってやねの上にはっぱものせてある。私がおさんぽから帰ると立派なワラのおうちが出来ていた。中にはつばめが入っていて、手だけが見えている。中でギョーザとか作っておみせみたいにも見える。手もおしりもまっくろ。あそびこんでいた。
次の日から、いちだいの声で、ひみつきち作りがはじまった。
そんな季節だねえ—。（11/19）